



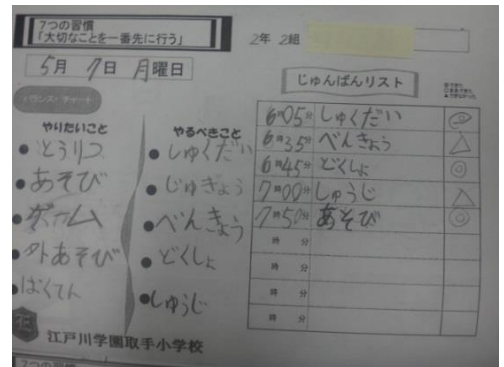
えどとり学童は季節を学ぶ 校長 若林 富男

1年間の見通しを持ちながら、毎月、その月の様子を表すポスター風の大きな掲示物（写真）をつくっています。5月は「こいのぼりやかぶと、カーネーション」をモチーフにして、折り紙で折って貼り付けて完成させました。折り紙は本やタブレットで折り方を調べて、折ってみて作り直しながら進めています。記録用紙に折り紙を貼り付けていって、作品集をつくろうとしている子もいます。学童室の中では折り方を教え合う姿が、よく見られます。



自学習の記録を書く

えどとり学童は「自学習」を推進しています。学童室（共同学習室）に入ると、まず出席をとります。次に、「自学習の記録」を受け取って、その時間内に「やりたいこと」と「やるべきこと」を書き出した後、時間のめやすとやりたいことを決めて「じゅんばんリスト」に書き込みます。そして、自分の決めたことに全力で取り組みます。終了間際に自己評価「◎できた ○まあできた ▲できなかった」を記入して提出します。自分で「計画(Plan)を立て、実行(Do)し、振り返る(See)」サイクルを繰り返すことで「自学習力」が付いていきます。1年生も6月から「自学習の記録」を書き始めました。



バスチェック！

バスチェックは本校の学童指導員の大事な仕事です。

バスに乗車する時は、指導員に学級と出席番号、名前をはっきりとした声で伝えます。バスを定時運行するには、子どもたち一人ひとりの意識が大切です。写真はある日の15時取手バスでの一場面です。聞き取りやすい声で名前をさわやかに言う姿が印象的でした。(嶋田)



スクールバスの乗り降りの約束を、次のように統一しました。運転手さんにしっかり挨拶し、忘れ物をしないように、すばやく安全に乗り降りしてほしいものです。

<朝> 後ろの座席から詰めて乗り、前の座席から順序よく降りる。
<帰り> 後ろの座席から詰めて乗り、後ろの座席から順序よく降りる。
補助席を使用するときは、最後に乗って先に降りる。



学童指導員の異動

4月末をもって松若春代指導員は退職しました。後任として5月より、満 尚美(みつ なおみ) 笹川 裕美(ささがわ ひろみ)、瀬尾 正美(せお まさみ) 高尾菜穂子(たかお なおこ)4名の指導員が着任しています。よろしくお願いいたします。